



先輩職員から
のメッセージ

東京国税局 徴収部
特別国税徴収官（国際）
（平成 18 年度入局）

仕事と育児の 両立がしやすい 職場環境

▷ 現在の業務内容

現在は、徴収部特別国税徴収官で**国際税務専門官**をしています。
外国との租税条約の枠組みを基に、滞納者の国外財産を徴収する「徴収共助」という制度を利用した徴収の手続きや、国外財産などを調査するための「情報提供要請」を行っています。税務署の徴収部門から「国際徴収」に関する相談を受けたり、「国際徴収」に関する研修を行ったりもしています。

▷ 子育てとの両立

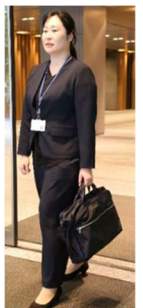
現在小学 5 年生の子（男）が 1 人います。
子育てはとても大変でしたが、**仕事との両立はしやすい職場環境**だと思います。育児休業は約 2 年半取得し、べったりと子育てをすることができ、今も子どもから毎日元気をもらっています。

夫も同じ職場で、同様に育児支援制度を利用できるため、子どもが体調を崩すことが多かった保育園の時期も、子の看護休暇を交互に取得するなど協力して乗り切りました。周囲の理解も深く、急な休暇も取得しやすい職場の雰囲気です。ただ、私の場合は同居している夫の母の協力が欠かせず、とても感謝しています。



◆ 先輩の 1 日

- 8 : 30 ● 出勤・メールチェック
- 9 : 00 ● 事案の確認
～税務署からの相談対応
～徴収方途の検討
- 12 : 15 ● 昼食
- 13 : 00 ● 幹部への説明
- 14 : 00 ● 国際徴収に関する
研修資料の作成
- 15 : 00 ● 事案の確認
- 17 : 00 ● 退庁



▷ 仕事の魅力

新聞報道されるような事案に関わったことは、とても印象に残っています。

▷ 管理職として



昨年は、税務署の徴収部門で、1 年目から 3 年目の若手職員がいる部門の統括官をしていました。経験の浅い職員の皆さんは、分からないことばかりだと思うので、疑問に思うことや困ったことがあったらすぐに相談してもらえよう、**相談しやすい雰囲気を醸成することを心掛けていました**。ありがたいことに、部門の皆さんは若手の方を含め皆優秀で助けられることばかりでした。

後輩職員から「あの時の話を聞いてこの仕事をしたいと思いました」と言ってもらったときにやりがいを感じます。

✉ message

就職活動の時期は、何をやりたいのか、どうなりたいのかをじっくり考える、とてもよい機会だと思います。しっかり自分と向き合って、国税の職場が『自分を成長させてくれるところだ』とピン! ときた方と、ご縁がありましたら嬉しいです。